

工事進捗報告会での主な質問と回答について

令和7年10月5日に、「登戸土地区画整理事業工事進捗報告会」を開催しました。報告会で、皆様からいただいた質問のうち主な質問と回答についてお知らせします。また、後日回答としたものについては、この掲載を持って回答とさせていただきます。

なお、今回報告させていただきましたスケジュール等に大きな変更がありましたら、改めてお知らせしてまいります。

質問1：登戸2号線に新たに横断歩道が設置されるか。また、下河原踏切付近の交差点に信号が設置されるか。

回答：横断歩道については、多摩警察署から、登戸2号線の間あたりのコンビニエンスストアがある交差点に、早ければ来年度中に設置すると伺っております。また、信号については、多摩警察署から神奈川県警本部に対し信号機設置の要望をしており、その回答を待っている状況と伺っております。登戸区画整理事務所としましても、交通安全は重要と考えていることから、引き続き、多摩警察署と協議・調整を行ってまいります。

質問2：報告会で説明いただいた事業が完了することで、登戸土地区画整理事業に関する工事は完了するのか。

回答：駅前広場整備（登戸駅前広場、向ヶ丘遊園駅北口駅前広場）・無電柱化事業（景観舗装を含む）・登戸つくりと公園 Park・PFI 事業等が登戸土地区画整理事業で残っている工事です。これらの工事すべてが令和9年度までに完了する予定です。

質問3：区役所通り登栄会商店街に対する、「地上機器の設置に関する考え方」をどのように決定したのか。また周知をどのように行ったのか。

回答：区役所通り登栄会商店街の無電柱化については、令和2年8月から商店街沿いの土地所有者、借地権者、一部テナントの方を対象に検討会を開催し、その中で、一方通行化と無電柱化について意見を伺い市で方向性を決定し、不参加の方には、後日、資料を送付しております。

地上機器につきましては、近隣建物の状況や電力使用量に基づいて必要量を算出し、施工性や埋設物状況、権利者境界位置等の利用状況を考慮し、さらには、道路の利活用空間の形成や歩行空間の確保等について総合的に勘案し本市で位置を決定しています。

質問４：登戸土地区画整理事業で行っている無電柱化事業の事業費について教えてほしい。

回答：登戸土地区画整理事業の総事業費は約９９４億円であり、その一部に無電柱化事業が含まれております。また、現在も無電柱化事業が完了していないことや道路と無電柱化の同時整備を行っていることから無電柱化事業単独では算出しておりませんが、国土交通省によると、無電柱化事業の一般的な費用は５.３億円/km(道路の片側に敷設する場合)と言われております。なお、登戸土地区画整理事業の無電柱化整備路線の道路延長は、約２kmです。

質問５：新住所に変わるのはいつ頃か。

回答：令和９年度上半期に予定している換地処分公告の翌日から、新地名と地番の利用が開始される予定です。